



生みの親といっしょに
よりよい育ての親に

わたしを ぎゅっとして
わたしを 見つめて
わたしを 聞いて
わたしを 呼んで

〔 こどもの日 自分らしさ (主体・自我) を育む 〕
～ 人格・人間性・人生観・主体性の基盤を創る ～

毎年5月5日は「こどもの日」として1948年 国民の祝日の一つに制定されました。
子どもの人格を重んじ、その幸せを図るとともに、母に感謝する日として制定されたのだそうです。
日本では古来からある端午(たんご)の節句とも言われ
五節句の一つとして子どもたちの成長と幸せを祝ってきました。

しかし、そのような時代的な背景の中で私たち(社福)童心会は、
1973年(昭和48年)茨城県下館市(現:筑西市)にある人口6万有余の町から
日本に新しい保育(人間教育)を発信したのです。
それが「五感を刺激する 0歳からの人間教育」になりました。
そしてそれを世界では OECD(経済協力開発機構)が2001年に
保育白書 Starting strong(人生の始まりこそ力強く)、ECEC(Early Childhood Education and Care)
として発表してくれたのです。

「近年の脳神経科学の研究により、幼い子ども、特に3歳未満の最初期にある子どもは、
有能な学習者であることが確かとなった。3歳未満児と、それより年長の子どもの学習能力を
分別するのは、伝統や大人の都合であり、科学的根拠に基づくものではない」といっているのです。

さらに最近では、2025年1月29日 OECD からまた8つ目の Starting strong の報告書が出されました。
その中では乳幼児期の育ちと学びを支えることにより、人格形成の基盤が培われるとも言っているのです。
さらに2005年には国連でも、2018年には G20でも各国の大統領や首相が、それぞれの国で
取り組むべき共通の重点政策課題に、初めて就学前の乳幼児の保育保障が位置づけられました。
さらに昨今では持続可能な開発目標(SDGs)の4でも、
誕生から一生涯にわたるすべての人に質の高い教育を保障することが目指されています。



笑ったかす一番 だっこされたかす一番 やさしくされたかす一番
遊んだかす一番 でかけたかす一番 チャレンジしたかす一番

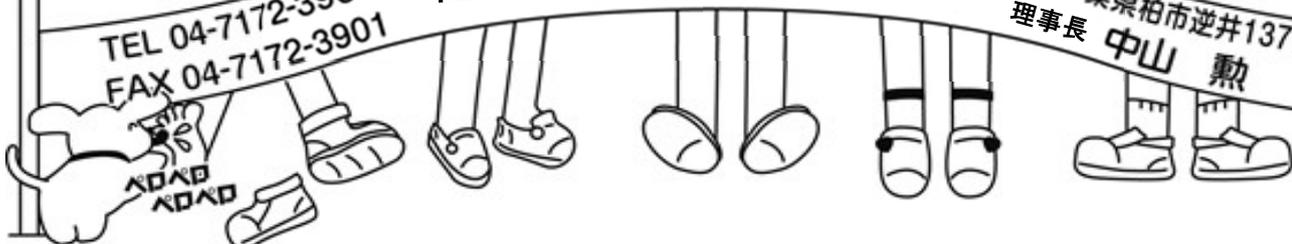


E-mail doushinkai@doushinkai.jp URL <http://doushinkai.jp>

TEL 04-7172-3939
FAX 04-7172-3901

社会福祉法人 童心会

〒277-0042 千葉県柏市逆井1377番地1
理事長 中山 勲



こうした新しい時代の流れの中で最近の OECD は、特に0～2歳の乳幼児期における社会経済的格差が大きく、就園率や保育の質が低いことが指摘しています。

こうした昨今の乳幼児期保育の世界的潮流に対して私たち(社福)童心会は、人とひととの関わりを通して長い間お互いの存在を認めあう

Serve & return(やりとり・受けこたえ)「自分らしさ(主体・自我)を育む」ことに取り組んできました。それが「五感を刺激する 0歳からの人間教育」であり、人間学と人間科学に基づく人間教育になったのです。

[自分らしさ(主体・自我)を創る]

1. 人格の核は、どのように形成されたのか？
2. 人間性の質は、どのように養い育てられたのか？
3. 人生観(性格・ライフスタイル)の基盤は、どのように作られてきたのか？
4. 主体(自我・自分らしさ)の成り立ちは、どのような歩みをしてきたのか？

この4つの設問の答えは、ある日の(社福)童心会理事長研修会のA先生の感想文の中に書かれていました。

「愛され上手」

理事長先生より「人間は胎生期より愛されるために感覚や運動機能を身につけ始める」ことを学びました。

(社福)童心会の子どもたちは「愛される能力」に長けていると、日々の生活の中で実感することが多々あります。

目が合うとほほえみかけてくれる、気付くと側にいてそっと手をつないでくる、朝の会や帰りの会の「わたしをぎゅっとして」の時間には本当に嬉しそうな顔で全力で抱きしめてくれる、というノンバーバルなシグナルのほか、「ありがとう」「うれしい」「だいすき」等のポジティブな言葉の表出が上手であると感じます。

愛さずにはいられない子ども達の姿は、童心会の保育によって、保育者に受け止められ愛されているからこそ作られるものだと思っています。それは、まるで幸せな胎生期のような安心感がある、ということだと私は思います。この幸せな応答行為(やりとり・受けこたえ)を守り発展させられるよう、日々精進してまいります。

[キーワード]

- | | | |
|--------------|----------|----------|
| ・ ほめ上手 | ・ 聞き上手 | ・ だい好き上手 |
| ・ ほほえみ上手 | ・ まなざし上手 | ・ よろこび上手 |
| ・ アイサツ上手 | ・ 手伝い上手 | ・ だきしめ上手 |
| ・ アリガト上手(お礼) | ・ ふれあい上手 | ・ よりそい上手 |
| ・ あまえ上手 | ・ 仕草上手 | |

いつも常に子どもたちは、保護者の皆さまと私たち、そして地域社会の皆さまと共に歩んできました。

そしてそれは「ひとりで 生きる、みんなと 生きる、人のために 生きる、助けあって 生きる」という「自分の人生」の旅立ちの歩みのはじめになりました。

それを私たち(社福)童心会では「人の成り立ちの歩みのはじめ」として大切に育みあっているのです。子どもたちはいつも”いまから・ここから・自分から”自分らしさを創り歩みはじめている”みらい人”です。幸せを祈ります。

最後に どうぞ皆さまの毎日がおだやかな暮らしにつつまれますように！

そしてすべてのご家庭の皆さまのお幸せを祈っております。

Well-being 幸せになろうね！幸せになろうよ！は私たちの合言葉！

どうぞ いつまでも お幸せに！！

令和7年 5月 吉日
社会福祉法人 童心会
理事長 中山 勲